2006年4月15日

-昨年、震災前の姿に再建された神戸栄光教会

前回会議を、「合同教

宣教委員長基調報告

括した上で、「時間が

02年に開催された

細に述べられた。

の経緯について)、詳

報告がなされ、副題

教団宣教委員長から基調

開会礼拝の後、岩﨑隆

に上げられた通りに

(宣教方策会議開催

mmman.

of the last of the

(1)

**(2)** 

**(3**)

(4)

**5** 

**(6**)

価 1部140円(本体133円干共200円) 1年分 〒共 紙代のみ 5,000円 3,500円 振替 00140-9-145275 本紙を購読ご希望の方は、前金を そえて、お近くのキリスト教書店 へお申し込み下さい。 教会の購読料は負担金に含みます。

神戸栄光教会を会場に、4年ぶり開催

開

会礼

神義論を超えて」

5年度宣教方

エレミヤ書一二章一~六節

山北宣久教団総会議長は

も釈義も濃厚な内容であ

以下に概要・要点では

歴史の半分以上が所謂紛争

による説教の冒頭に、「その

なく触りを記す。

発行所 日本基督教団 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546 電話 03(3202)0546 FAX03(3207)3918 E-mail:shimpoh-c@uccj.org 竹竹 前澤 発 行 人編集主筆 印 刷 所 知代志 株式会社きかんし

2

(1)

3

**(4)** 

**5** 

**(6)** 

7

(8)

# 9

(10)

# 山北宣久教団総会議長による開会礼拝説教 教団全体の教勢増を図るな ら都市郊外への伝道こそ急 会数・人数は増えておらず、 都会教区は人口増程には教

務であると分析した。

# 数字にも希望を捨てずに 具体的なデータを基に展望を見出すべ

から「宣教方策会議の名にふさわしい会合であり、実のあるものだった」という感想を聞いた。とに 四年ぶりの開催となった。今会議自体の評価についても見解は分かれるだろうが、一人の信徒参加者 宣教方策会議が開催された。二年前は宣教理解の違いから主題をしばり切れず開催できなかったので、三月六〜七日、阪神淡路大震災から一〇年、会堂再建なった神戸栄光教会を会場に、二〇〇五年度 かく、同じテーブルで、共に学び、話し合った。その意義は大きい。

> 課題を共に担うべく出かけ 厳しい現実に向けて宣教の ちがあればこそ、私たちは れた。この執り成し・裏打

私たちの救いとなら

ていける。

エレミヤはどんなに苦し

架の光の中で受け止める以 自己流に都合良くキリスト を礼拝することだ」。 矛盾・不条理も主の十字

働き給う神を信じたからで くとも虚無的懐疑に陥るこ とはなかった。歴史の中に

|権を握った信仰と自分が主 |導権を持ったままの信仰 ある。ルターは言った。「偶 ものを拝むことではない。 像礼拝とはキリスト以外の と、神に従うにも二種類が えだえに執り成しの祈りを を赦して下さい」と息も絶 まさる矛盾・不条理の中に 身を置きながら「父よ彼ら 外にはない。主は神義論に のために励み行きたい 在に励まされて共通の使命 である。私たちも、神の臨 神を問題にしなかったから 同体から離れた個としての あり、イスラエルという共

# 教勢から見た教団の伝道の歴史

が落ちている中、体力測定

改善・回復の契機とさ

を信じている。口先では神

に逆らう者も彼らなりに神

よ神よという人がエレミヤ

れたい」と辛辣とも聞こえ

る表現で語った。 現状分析

を苦しめている。神が主導

時、今回の会議の意味はそ

的問いが生まれる。この箇

苦しむのか」という神義論

に、「何故悪人が栄え善人が

世の現実と向かい合う時

所では事はより複雑で、神

も方策もない』と言われる に費やされ『教団には宣教

れなりに重い。教団の体力

料室長は、「教勢から見た日 戒能信生前宣教研究所資 と題して発題した。

体的な結論として、教団 の中にはさまざまな考え わらず、それぞれに のが分かった」と総 で働き、生きている って真剣に宣教の場 与えられた課題を持 方があるが、にも拘 そのことを自覚し、出来る 的な数字を扱っているよう をしたい」と最初に述べた 限り実際的なデータの提供 分析者の解釈が入り込む、 でありながら、どうしても れた大きな出来事の前後で 通りに、教団の歴史に刻ま 情勢の分析は、一見客観

語概念の多様さもあり、一 り、数値の精度の問題、用 を教えられた。にも拘わら 面的に見ては読み誤ること 複雑な要因が絡み合ってお は、大規模な教団離脱等の やかに描き出した。 戦前と戦後の教勢比較で 面では見えない数字が示さ 戦後に立てられたという表 たは離脱し、九百の教会は 千八百中千の教会が解散ま また、戦前に比較すれば

出来た。一方、信仰によって良い学びが

タント伝道開始一五

〇年を間近に控えた

後六〇年とプロテス

しているので、敗戦

からは、光明は感じ取る

ことが出来なかった。

全

理由について説明 この年に」と今回の開催

数字は雄弁に語る。

成

告白を巡っての議論

講演者や発題者たち

いては、主題講演の 会の歴史の部分につ

く社会の状況も変化 経過し教会を取り巻

で)」、「新規開拓伝道 の進展(六八年機構改革ま 更に、「戦後の教団の伝道

本基督教団の伝道の歴史」 数字はどう動いたのかを鮮 興味深い内容であった。 た。この点についての当時 と思い込んでいたことと実 ろ上昇したことなど、漠然 三年以降礼拝出席数がむし たか?」という項目で、七 紛争によって教勢は減少し まりにも意外な堅調、「教団 程と納得する統計もあった の社会情勢に基づく分析は 際の数値の違いに驚かされ 戦時四二年の教勢のあ

に迫った。 策定されなくなり、例えば が、教区は互助体制の構築 規開拓伝道などは鈍化した 大都市郊外への積極的な新 を注ぐこととなり、教団と など既存の教会の維持に力 宣教の主体は教区に移った しての伝道プロジェクトは また、機構改正によって

な方式による伝道によって ・再建伝道)」の項では、様々 と指摘した。 多岐にわたり各種の統計

生み出された教会の推移を

数字で追い、教勢の増減に

留まらない伝道方策の本質 えるという戒能氏の見解も 別構成や受洗者数の推移 の成熟を表しているとも言 と、その数字が物語るもの 数が足りない。会員の年齢 は、見方を変えれば、教会 について、受洗者の高齢化

その項目を紹介するにも紙 覧表が用意されており、 は殆どない。二〇年三〇年 ▼二〇年昔の写真に、現在 を育てることなのだろう。 会の一番大きな課題は、人 り、正念場であり、危機で 題です」。▼多分、何時でも、 も礼拝を守っている人の顔 次の後継者を育てる、これ 載っていた。「その意味で 何時の時代にあっても、教 何所でも、教会は節目にあ が私たちの教会の大きな課 あり、チャンスなのだろう。 ことは確かです。これから は、いま大きな節目にある 前々任牧師のこんな言葉が



発題者、中央が戒能信生氏、右が佐々木美知夫氏

あるという説明文の後に、 なり、九〇才を超えた人も 教会創立時の会員が高齢と 持ってきた。短期間に四〇

一〇年昔の『信徒の友』を

ている所に、役員の一人が ために教会の沿革をまとめ

名の葬儀が行われたこと、

老朽化、新来会者の激減、

総会で、昨年も一昨年もし

ています」。そんな話を教会

た。会員の高齢化、建物の

後、百年後の未来がかかっ

すかに五〇年 をいかに過ご 渡期にあり、 ちの教会は過

この一年二年

▼ホームページ開設準備の 間違いなく正念場にある。

健闘しているのに比して、

地方教区が人口減少の中で

また、教区別の統計から、

**(7**)

(8)

一種を蒔き続けている限り。

思議に、花は咲き実がなる。 教会にはない。しかし、

先の見通しもまして保障も

委員が、二<br />
二<br />

取組の状況が述べられた。

の互助体制構築についても 区との協力・交流、教区内

財

西中国教区は、滝澤貢教

結果を報告した。「奥羽・

西中国で伝道・牧会して来

数字を上げて、教勢の分析 区宣教委員長が、具体的に

に出会ったことがない」 たが、自分より若い教会員

「年々謝儀が上がる牧師

つの報告がなされたこと

四つの教区から二〇分ず

問題点を鋭く指摘した。

「教区総会議案・報告書に

ある。

担が限界に近づいているこ

となど、教団が抱えている

1

**(2**)

(3)

**(4**)

**(5**)

**(6**)

**(7**)

8

# 05 年度宣教方策会議

# 乗り越え る

財政から見た教団の現状と課題

担金の70%、二~三教区分 なっていると述べた。 摘、教区活動の縮小、教師 計に占める教区間互助の割 であること、更に教区諸会 と、更にこの会計を支える の経常会計に匹敵するこ の合計は二億円で、教団負 なっていること、一六教区 助が、全ての教区で課題と 規模教会が存続出来ないと を経済的に支えられない小 信徒の過半数が六〇才以上 いったことが現実の課題と では、互助制度と小教会援 現れた各教区の財政課題」 が増大していることを指 も、今会議を特徴付けた。

一会と各個教会に与えられた る。今は教団という全体教 も大きな陰を落としてい きか、次の意見を述べた。 と、将来に向け何をなすべ 後、「宣教委員会からの要望 では夢も希望もないので」 たが、このまま終わったの 厳しい現状を描き出した 「教団紛争」は教会経済に 『危機感の共有』であっ よる、「宣教の拠点が数多く 政について、詳細な研究に 小規模教会の散在、経済的 告し、データの分析に基づ 早く専門委員会を設け、 因としてしか数えられない いて丁寧に説明した。 組がなされて来た経緯を報 政検討を重ね、改革への取 に付属施設に頼った教会財 ややもすればマイナス要

教

題は、「財政 (経済状況)

から見た日本基督教団の教

額と現住陪餐会員の減少、

局齢化のもと信徒の経済負

実に表れた数字から、献金 会の現状と課題」。統計に如

める時期、 使命に立ち 済的危機を なくして経 深める協力 栄光を求め 帰り、主の 福音宣教の 信頼回復を て働きを始 教区宣教委員長が、主に開 希望を呼び起こした。 は、そのユーモア溢れる語 発見ともなった」との報告 り、豊かな宣教的資源の再 えられていることが分か 拓伝道のビジョンについて り口とも重なって、聴衆に 存在し、地域との接点が与 西東京教区は、若月健吾 区書記が、ほぼ教区互助の が詳しく述べられた。 課題へ取り組んでいること が信頼」だとし、困難な状 前提にして一つとなること タラントを活かし、違いを な言葉で表現したが、その など、深刻な現実を刺激的

教区が積極的に宣教

参加は計 88 名

ことはでき 催、教区宣教研究所設置の 報告した。諸伝道協議会開 九の大学が集中する町田・

現状と課題にしぼり報告し

四国教区は、黒田若雄教

出した歴史的背景につい

をしなければならない。出 そ、宣教・伝道体制の構築 済は信徒の捧げもの、それ一と立つことが必要となる。 説的に述べたが、最後も、 教会財政の性質・意義を解 来ることから始める必要が 連づけて述べた。教会の経 次のように宣教と経済を関 教憲、生活綱領に基づいて 発題の冒頭には、教規、 の場が豊かに整えられ、信 も充実する。危機を乗り越 が与えられてこそ捧げもの がなされる場の充実無くし て経済は上向かない。礼拝 徒の信仰と生きる日々に力

教区からの報告 を与えられる聖霊の導きに えるには信仰の喜びとその 教団全体が今一度しっかり 証、福音宣教・伝道の使命

東北·西東京·西中国·四国 ての伝道意欲が語られた。

教会形成が可能になった むことによって、一体感を 教委員が、プログラム通り くのか、厳しい現状につい 最も早いスピードで少子高 えられた。一方、「日本で と、教団全体への示唆が与 長期化したことで安定した 醸成し、牧師の在職期間が の箇所・出エジプト記二四 った教区が、互助に取り組 遽立てられた小西望教団宣 かに制度を維持運営して行 齢化が進む地域として」い ても述べられた。 した担当予定者に代わり急 閉会礼拝は、葬儀で欠席

強くて一体感を持ち得なか て行い、守ります」という ちは主が語られたことを全 が結ばれた。この後、民は 金の子牛を拝む。「わたした

の言葉に、民が応答し契約 得力豊かに証した。 章三~八節から、簡潔に説 モーセが読み聞かせた神

された。昨日からのデータ 民の言葉は破られた。しか 私たちを導く御手がある。 が明らかにされた。しかし、 えられ、応答することが許 ば、私たちは空しく亡びる。 によって、私たちの愚かさ し、赦しと再びの召しが与

る話題が取 た。多くの 分団が最も で報告され り上げら 時間を割い 子が全体会 れ、その様

九つの分団では多岐に渡一議の名にふさわしい集会で一していたように思う。 多々あったが、「宣教方策会 反論が述べられる場面も られ、また

注文が付け とだった。 して厳しい 発題者に対 助体制のと たことは互

9 の分団に分かれ熱心な議論は続いた

あり、実のあるものだった」 という感想が参加者を代表

# 宣教方策会議開催を感謝 第四回宣教委員会

教方策会議に引き続いて神 担当、エレミヤ書八章一八 戸栄光教会を会場に開催さ 員会が、三月七~八日、宣 ~二七節に基づいて説教し 開会礼拝を北紀吉委員が 第3総会期第四回宣教委 か、以下のような協議を行れたことが報告された。ほ 会等の報告がなされた。こ 総会の場で認証書が手渡さ 認された「全国教会幼稚園 主活動団体となることが承 の中で、第三回委員会で自 と反省を行った。第3総会 たはこれに代わる担当者か 期委員会内での学び、さら を危惧して開催を見送られ 立・すれ違いに終わること 期は宣教理解の違いから対 たこの会議であったが、前 には各教区の宣教委員長ま

まず宣教方策会議の評価

常議員会、常設専門委員

想をスタートしなければ」

方で、「諸教会の特性・

に等しい。その自覚から発 は、教会にとって不良債権

望となった。 経て、四年ぶりにこれを開 催できたことは今後への希 今回は、主に教勢と財政

宣教方策会議の全日程を終え、直ぐに委員会 扱い、将来の宣教方策の取 りまとめに向かっていく必 委員会での研究・論議でも 当委員会をはじめ、諸機関・ 協議・提示された諸課題は を共有できたと思われる。 て理解を深め、一定の認識 要がある。沖縄教区より教 ることとなった。

ととした。 今後報告書の作成に入ると て残った。以上を確認し、 少なかったことが反省とし 今回は経費の面から教区推 とは、残念であった。また 薦参加者を一名減の二名と したところ、信徒の参加が

は、出版局での販売契約を ことができたことの意味を 大震災の被災から一昨年再 刊行委員会と教団会計の間 思い、感謝した。 建された会堂で会議を行う 二月末をもって終了する、 加えて今回、阪神・淡路 聖書注解書刊行について

らの報告を受けての準備を

員会桑原重夫委員長との間 の合意を第3総会期刊行委 で交渉中である旨の教務会 価は0とみなしその処理を で精算をする予定、在庫評 の報告を受け、これを承認 刊行委員会に委ねる、以上 した。これをもってこの案 八、学科試験と面接について 員会へお問い合せください。 志願者に通知いたします。不明な点は直接、当委 (水)、九月二八日(木)に大阪クリスチャンセンタ (月) 消印有効です。 提出締切について において一会場で実施します。詳細は直接、受験 学科試験は九月二六日(火)、面接は九月二七日

伝道所の歩みと現状につい の観点から教団の諸教会・

下一六九-00五一 二- | 八-三 | ☎(O三)三二O二-O五四六 100六年四月 日本基督教団教師検定委員会 東京都新宿区西早稲田二一

# 9

10

教師検定試験公告

二〇〇六年秋季教師検定試験を左記の要領で行

# 、受験要綱と受験願書の提出期限

教団締切 七月六日(木)(各教区から教師検定委 教区締切 六月八日(木)(教区により締切が異な りますので、教区事務所に確認してください) て、受験料とともに所属教区に提出してください。 書でお申し込みください。願書と必要書類を整え を同封し、正教師受験志願者か補教師(A、B、 Cコースの別も)受験志願者かを明記した上、封 受験要綱と教団指定の願書用紙は一六〇円切手

一、正教師の「説教」「釈義」の課題テキスト \*受験料は正教師一万三千円、補教師一万円。 ②新約 ペトロの手紙I 四章七~十一節 員会に提出する際の締切です) ①旧約 エレミヤ書 三一章二七~三四節

二、正教師の「神学論文」の課題

四、正教師の「組織神学」の課題 まえて神学的に論述してください。 て」という副題をつけ、で自分の伝道・牧会をふ 「『義認と聖化について』 ― 宗教改革期の議論を 『今日における宣教の課題』。「特に~をめぐっ

※コースによって異なりますので、必ず受験要綱 ②新約 ヨハネによる福音書八章三一~三八節 ①旧約 出エジプト記 十三章十七~二三節 ふまえて組織神学的に論述してください-」 | 補教師の「説教」「釈義」の課題テキスト 補教師(Cコース第三年)の牧会学の課題 でご確認ください。

『牧会とは何か』について論述してください。

「組織神学」「牧会学」に関しては、七月十日関しては、七月六日(木)消印有効、「神学論文」 当委員会への提出締切日は、「説教」「釈義」に















5

















2006年4月15日

嘉手納飛行場を外から眺める

第3総会期第四回の委員

記のとおりである。

1、左記の発題を委員二

た発題であったが、討議す

いたので対応を協議した。

良く準備され

題について現地

# (1)

# **(2**)

# **(3**)

# (4)































(10)

10

**3** 







7



以上が協議内容である

落事故のあった沖縄国際大

高台、米軍ヘリコプター墜

し、「沖縄から基地をなくし

|ない、WCC以外にも同じ

 $\Diamond$ 

今委員会は沖縄基地問

学、佐喜真美術館。

砂辺·嘉手納、読谷、

る当山栄さんから、これま 民連絡会) のメンバーであ 絡会」(略称·沖縄平和市 世界の平和を求める市民連

さしかかっている。

ど、WCCは新たな局面に たに立ち上がっているな 課題を担う多くの団体が新

での経過や現在の状況、今

|月二八日(火)、端慶覧

辺野古を含む名護北部。





# (8)



# 9

# **2**)

会を二〇〇六年二月二七日 (月) 午後一時~三月一日 (水) 午後一時、沖縄のぎ

等の問題について現地研修 のわんセミナーハウスを会

協議された主な事項は下 一道子委員。

の福祉と今日の課題」長沢 光一委員。 名が担当した。 題に関する問題提起」山本 〈発題2〉「知的障害者へ 〈発題1〉 「パレスチナ問

日、社会委員会通信に掲載

度募金を実施することとし

おられる。要請があれば再

復興のためになお苦労して

た。なお、その内容は、後 る時間がとれず残念であっ

六年二月一五日

陸南地震被災復興支援報告 2、奥羽教区から二〇〇 付けで、「三

島での大規模地滑災害の被

3、フィリピンのレイテ

ることとした。 災救援募金について協議し って具体的な対応を検討す た。ACTからの要請を待

円)の配分のために各教区 を目処に実施する予定であ と。 一件につき 一五万円 に推薦をお願いすることと (クリスマス献金二八〇万 社会福祉施設援助金

リック大学」を会場として、

000人に上った。

今大会の主題は「神よ、

ったが、全体の参加者は四、 た。代議員は約七〇〇名だ

グレ市にある「教皇立カト ラジル南部のポルト・アレ

WCC第9回大会が、ブ

の渡部信の各氏が出席し

るため、相互聖餐、教職者

一本からは二期一四年間勤め

半島の平和」、「命の水」な

眞樹子宣教師)を、上田博

子宣教幹事がサンパウロ福

どの声明が発表された。

の職制の相互承認などを論

じている。また約三四〇の

り、西原廉太氏が選出され られた平田真貴子氏にかわ

の開催について協議した。 題が起こり、その反省と総 全国社会委員長会議

読谷の集団自決で多くの方々が亡くなった チビチリガマを見学

教会の朴寿吉、日本キリス

子、日本聖公会の代表とし 代表として大宮溥、上田博 開催され、日本基督教団の 二月一四日から二三日まで

し、支えるために %を目安に謝恩日献金を捧げる。 金制度を支える道が開かれた。 こうして全教会が一%を捧げて年 をまとめ、さらに各個教会が〇・五 を重ね承認した。教区で〇・五% 議案を立て、教区総会もまた議論 を維持できると考える。 そこで教区常置委員会は前述の

もあり、教区が一定の役割を果た かしだからこそ教区が各々の実情 か



中部教

収入の一%を捧げれば、

年金制度

幹事)、日本聖書協会総主事

カル運動をさらに進展させ 択した。声明はエキュメニ ための招き」を最終日に採 声明「ひとつの教会となる あった。この主題に応える 界を変革してください」で あなたの恵みによって、世

焦点を当てることとなっ し」の四つの分野の活動に

た。WCCは、一九九八年

役者を生み出すために

る四〇七万円を計上し、捧げるこ 会計予算総額の一〇・三%に当た を決議した。〇五年度は教区通常 金として教団年金局に捧げること **4%を教区通常会計から謝恩日献** 区内諸教会の経常収入総額の〇・ 中部教区総会は〇四年度より教

されているが、各個教会次元での 教団総会や常議員会に現状が報告 教団年金の逼迫が言われて久し 感謝である。 すことが望ましい

(3)

(1)

2

3

4

5

**(6)** 

7

教団年金を支える み言の

言える。 教区

楠本史郎

動きは順調とは言えない。

中 部

を補助的に支える教団年金は教団 しである。教師の隠退後の生活 しかし年金資金の確保は待った る。み言を宣べ伝 える教師を生み出 全体の課題であ

そ、教団は教師を生み出す教会と げた教師の老後に配慮してこ る。伝道に生涯を 不可欠な制度であ 教会も教区も財政は厳しい。

全教会が経常 体策を立て、諸教会に呼びかける ことができるのではないだろう に応じて年金制度維持のために具

沖縄・ぎのわんで第四回社会委員会開 書送付とお願いの件」が届 催 期の開催は断念することと たっていないので、今総会 で一致した見解を持つにい 6、「社会委員会通信」

問題小委員会での講演と発 する。委員会と靖国天皇制 た。第3号を四月中に発行 の内容と発行時期を決定し 題が内容の中心となる。第 40号は九月発行を目標とし の一環として行われる。 問題基本方針をめぐる協議 から継続している教団社会 ととした。これは前総会期 と題して滝野川教会の深井 おける教会の社会的責任」 智朗牧師から講演を伺うと

議のあり方について委員会 括が未だできず、かつ、会 協議し、憲法問題や国家と や発題等を掲載することと て、今委員会での研修報告 宗教の問題を含め、「今日に 7、次回委員会について

とおりである。 グラムに従って実施するこ んセミナー 題等の現地研修を、ぎのわ ハウス研修プロ

二月二七日

とができた。天候にも恵ま いた。訪れた場所は左記の な案内と説明をしていただ 又吉京子さんには懇切丁寧 れ、セミナーハウス職員の

亨では、

海上基地建設予定

転候補地となっている辺野

ことに、普天間基地の移

後の戦いについてお話を伺

バブラジル大統領、ウィリ

期間中、ルラ・ダ・シル

アム・カンタベリー大主教、

うことができた。

次回の第五回委員会は六

南アフリカのツツ大主教が

地を遠くから観察すると共

に、「米軍基地再編反対」、

員会は九月一一~一二日に 月二六~二七日、第六回委

スピーチをした。世界の教

訪れ、それぞれ味わい深い

(月)、嘉数

れているテントをお訪ね

基地建設阻止のために作ら

開催予定である。

(張田眞報)

に集う場のシンボルとして

会が目に見える形でひとつ

のWCC大会の意義は大き

ひとつの教会となるための招き」採択

世界教会協議会(WCC)第9回大会

暴力にさらされている人々

への保護の責任」、「テロと

宣教協力委員長がサンパウ

この機会に、大宮溥世界

口福音教会(小井沼國光・

**〈権」、「国連改革」、「朝鮮** 

テン・アメリカ」、「軍事的 体会での協議を踏まえ、「ラ メニカル対話等の成果や全

ざるを得ない。

係の構築の必要性も認識せ いが、その一方、新しい関

た八名の新議長が世界各地 後任として選出された。ま と東方正教会から選ばれ がカトリコス・アラム一世 ル・ルーテル福音教会議長) 加盟教会に声明の検討を求 ・アルトマン牧師(ブラジ (アルメニア使徒教会) の 中央委新議長にワルター クショップ、展示、イベン での聖書研究、全体会、夕 の礼拝に始まり、グループ ティラオ」(ブラジル語で集 ラムと並行して多くの「ム 憩時だけでなく大会プログ 方六時三〇分の夕拝で終了 会所の意)が催され、ワー した。夕拝終了後や昼食休 へ会は毎日朝八時三〇分

> り、「霊性と使命」、「教会 な財政難からの決定であ

形成」、「世界の正義」、「論

のは誠に幸いなことであっ

教会をそれぞれ訪問できた

理的な声と預言者的な証

の縮小と効率化が決定され

スト愛光園教会(宮本純子 音教会、マリンガ・メソジ

宣教師)、ブエノスアイレス

の在亜・キリスト福音公同

今大会ではWCCの活動

た。これはWCCの危機的

二二分団に分かれて「エキ トなどがなされた。また、 話」がもたれ、 ュメニカル対 八〇年代に南アフリカのア 二〇%の収入減となってい WCCは一九七〇年代、

員一五〇名も選出され、

 $\exists$ 

理事に相当する中央委

今年は二〇〇一年から開始 暴力構造解消のために人種 パルトヘイトその他の差別 差別撤廃プログラムを展開 した「暴力克服の十年」プ して大きな成果をあげた。

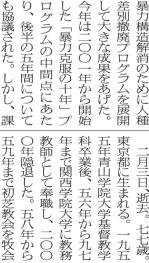
全体会の様子





り、後半の五年間について ログラムの中間点にあた 〇年隠退した。五八年から 教師として奉職し、二〇〇 科卒業後、五六年から九七 年まで関西学院大学に教務 東京都に生まれる。一九五 五年青山学院大学基督教学 一月三日、逝去。七七歳。







ツツ大司教を先頭に サンバのリズムで平和行進

教的多元性、

経済的正義、

全体会では、

協議された。 様々なテーマで

の発題と協議が の一致について 力の克服、教会



















をするところだ。予め用意された

ffりの言葉を、 懐中電灯を持って

ちも参加しやすく

の協約関係の豊かさのなか

た活動ではないが、台湾と

2006年6月5日/他詳

て当初から計画されてい

るを得ない。教育委員会と

で開催され、教団内の青年

3-3202-0544 世界宣教協力委員会(云 細はお問い合わせ下さい。

日帰りの部分参加

の後、救出されるというものだっ お腹の中に入って読み上げ、祈り

(1)

2

3

**(4)** 

5

(6)

7

(8)

「ヨナはよげんしゃ、むかしのよ

た。ちょうど夏期伝道実習生とし

も可能、また半田教会の子供たち

伝いをして下さる保護者特に母親 近な距離なので、夏期学校のお手 との交流の場にもなっている。 1

(2)

(3)

(4)

**(5)** 

**(6**)

7

(8)

9

(10)

げんしゃ…」(山崎てつや作詞・ その上に生き物大好きの牧師がダ ほどの木箱を魚の胃袋に見立て、 作曲)の賛美と一緒に、昨年のク 校で作られた。子供一人が入れる リスマス会ではヨナの物語が子供 スマスよりさらに五ヶ月前、幼小 ざな魚であった。実はこれ、クリ を惹いたのはヨナを飲み込んだ大 のだ。その中でなんと言っても目 の作った台本を下に劇を披露した 仪に集う子供たちが教会学校教師 たちによって演じられた。 教会学 (四歳~小学二年生)の夏期学 皆が魚の周りに集まり、声を潜め ングルで祈った時には、子供たち て来ていた韓国留学生のY姉がハ

のクリスマス祝会だった。 発表することになったのが、 度台本の構成を変えて、幼児から ったいないという声が上がり、再 夏期学校だけで終わらせるのはも 者」の歌と劇とが合わさり、子供 小学科の子供たち全員による劇を たちが大きな声で賛美する姿がと いう場面もあった。「ヨナは預言 てじっと彼女の祈りに聞き入ると ても印象的だった。これが好評で、 ここで少し説明させて 昨年 れ大人であれ、人の行き来を通し 供たちが半田と奥田を行き来する なく、互いにつながり、子供であ 半田、奥田は奥田とバラバラでは 意味する。しかも両者は、半田は 点の一つが備えられていることを ことは、常に伝道へと出て行く拠 センターが与えられているという 同志の交流の場としても貴重なの て主のみ業が伝えられていく。子 半田教会に知多奥田キリスト教

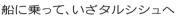
る仕事、それがよげんしゃ、しっ たことを、言われたとおりに伝え 者と歌った後、「神さまから言わ めくくられている。僕も私も預言 なかったか。互いの行き来を通し は、何よりもわたしたち天人では かりやろうね」。子供たちの賛美を て主のみ業が伝えられるようにと して主からの励ましを聞いたの 「ヨナは預言者」の歌詞はこう締

年科夏期学校の四つであ

後者二つの会場は岐

六年生)、そして中高青

阜で二泊三日のプログラ 祈り願っている。



# 区道のともしび

報

毎年四回夏期学校を行

り出す道へとつながっていくだろ

こと、それは主にある交わりを作

Yの席上である。 台湾基督

ンファレンスを予定してい えて五〇名位の規模でのカ

きとめることを生業とする。一

こととも重なっていると言う。

たのは、信仰を同じくする母の

台座には讃美歌「主よ、みもと

は時間と空間をキャンバスに描

木口さんは画家である。画家

)代のときに画家を目指し、 恩

知多奥田キリスト教

いただくと、半田教会は

ター)主催の一日夏期学 センター(通称奥田セン

半田教会主催の幼小

# 交わりのうちに働く神

# 横山ゆずり 半田教会牧師

小学科上級科(小学三年

(四歳~小学二年生)、

日の夏期学校を実 会場として一泊二 る奥田セ ンターを は半田教会の伝道所であ ムだが、幼小科夏期学校

道所である。夏期 が美浜町にあるの 学校の会場の一つ 千) に開設した伝 町(人口約二万五 会が約一七キロ南 九九二年半田教 奥田センターは した知多郡美浜

た。出来上がった魚は翌日、劇中

たちが魚に貼り付けて完成させ

紙で出来た鱗に模様を施し、子供

を夏期学校当日、何色もの色画用

貼って作った張りぼての魚。それ

ちがダンボールの上から新聞紙を たちが装飾できるようお母さんた

施している。

、ボールで魚をかたち取り、子供

躍。 メインは、 ひとり 一人がヨナ

になり、魚のお腹に入ってお祈り

ヨナを飲み込んだ魚として大活

そのような組織はない。従 **員会があったが、現在は、** 改正以前は青年伝道専門委

って、こういう実行委員会

よって準備、運営をせざ

ン 2006」 を計画し 端は昨秋行 カンファレ 八月、青年 ない。この 催されてい 年大会は開 われた台湾 ンスの開催 長い間、青 ことの発 決議をした。それを口先だ で「青年伝道に力を注ぐ」 いに生かされることを期待 している。 私たちは第3回教団総会

協約の協議 および青年スタッフをも加 各教区から推薦された青年 年一〇名を迎え、アジアか りを熱くしたいものだ。 けのものとしないために祈 二〇名、そこに実行委員会 らの留学生を五名、そして 台湾基督長老教会より青

も盛り込まれたことであ 迎えてくださった。そして、 会を開催しているが、昨年、 長老教会は、毎夏、青年大 教育委員会はただちに教務 とのことであった。そのこ 湾の教会青年を日本に送り とは、協議会の共同声明に 100六年夏は、ぜひ、台 いので受け入れて欲しい 昨年と日本からの青年を 教団三役より委託された 掲載したが、開催は八月三 るよう計画している。 を主要会場にしてのカンフ で、七日から九日まで二泊 日より一二日までの十日間 共に学び、交わりがなされ 後二回にホームスティをし 国YMCA及び三崎町教会 三日、水道橋近くにある韓 ァレンスが行われ、その前 日程等については前号に

架と復活だった。

キリスト者の画家として追い求 クとして描き続けてきた。特に 教えられて、以来、ライフワー 即から自分の絵を描くようにと

めきたテーマはキリストの十字

重ねての構想でもあった。

のぼりゆく階段についての発

とが、石を彫り上げてゆく原動

刀となった。

えた。この言葉を受け止めたこ

た「石上の仮寝」、「小羊の道し

いる。ここ数年、描き続けてき に近づかん」の歌詞が刻まれて

とが大きかった。普段、何気な 後に「安心だった」と言ったこ 逝去がきっかけだった。母が最

、使われるこの言葉が、このと

るべ」といった復活のテーマを

きには大きな重みをもって聞こ

えた実行委員会を組織し、 日本の青年を含めた教団と キリスト教友愛会(SCF) このカンファレンスを行 全国教会婦人会連合を交 ように準備を進めた。 で。 での協力を期待している。

実行委員長

第15回総会における機構

フ島/オアフ日本語ミニス 任地=米国・ハワイ・オア トリー/任務―牧師/条件 お知らせ

★ 宣教師公募

# 青年カンファレンス

会レベルで相談をし、学生

目家の墓石を新しく彫り上げ

て。このために石を伊豆に求め

父人の彫刻家の協力を得た。

出発点であり

ことからひとつ

とが原点にある。ここが人生の しているような思いになったこ

びにつながるものであろうし、

れる石を刻むことは、復活の喜

一栄光の場所とされた墓に置か

キリストのよみがえりによっ

復活の希望に生きてゆくことの

墓石には、十字架とそこにの

ずつ階段を登ってゆくという思

証ともなるであろう。

いが、そこに生まれていたので

た絵が立体となってゆくのを経

先頃、木口さんは自分の描

した。自ら描いた絵をもとに

陥り、階段の

一番下に立ち尽く

憶に遡る。 父を亡くし虚しさに 想は、木口さんの幼いときの記

ッション2006」担当ま か、教団事務局「ユースミ むと共に、ホームスティ等 詳細は各教区教育担当者 何よりも青年の参加を望

絵から石彫

へと広がっていっ

く人もあるとのことだ。

据えた墓石の前で足を止めてゆ

木口さんが彫り上げ、墓地に

はりゆく階段が中心に彫り出さ

=教団正教師/応募締切=

2006 年教区総会日程			
教区	会 期	会 場	問安使
北海	5月2日(火)10:00 ~3日(水)15:00	札幌教会	鈴木伸治
奥羽	5月23日(火)12:30 ~24日(水)15:45	奥羽キリスト教センター チャペル	愛澤豊重
東北	5月30日(火)13:00 ~31日(水)16:00	仙台青葉荘教会、 東北教区センター「エマオ」	小林 眞
関東	5月30日(火)10:00~ 5月31日(水)16:00	大宮ソニックシティー 小ホール	鈴木伸治
東京	5月30日(火)10:00~ 5月31日(水)18:00	富士見町教会	山北宣久
西東京	5月28日(日)15:00 ~29日(月)17:00	吉祥寺教会	山北宣久
神奈川	6月24日(土)10:00 ~16:00	清水ヶ丘教会	竹前 昇
東海	5月23日(火)13:30 ~24日(水)15:00	ホテル伊豆急(下田)	鈴木伸治
中 部	5月23日(火)13:00 ~24日(水)13:30	名古屋中央教会	山北宣久
京都	5月 3日(水)10:00 ~4日(木)15:00	洛陽教会	(問安拒否)
大 阪	5月 3日(水) 9:30 ~4日(木)16:00	大阪女学院ヘールチャ ペル	山北宣久
兵 庫	5月21日(日)16:00 ~22日(月)18:00	神戸教会	小林 眞
東中国	5月22日(月)13:00 ~23日(火)15:00	米子教会、サンルート 米子	小林 眞
西中国	5月9日(火)13:30 ~10日(水)16:00	メルパルク出雲	鈴木伸治
四国	4月28日(金)13:00 ~29日(土)15:00	高知教会	鈴木伸治
九州	5月 3日(水) 9:00 ~4日(木)15:00	九州キリスト教会館	小林 眞
沖 縄	5月28日(日)15:30	沖縄キリスト教センター	(問安拒否)

木口昭太郎さん

墓石によって信仰を



1937年生まれ。 二紀会会員 玉川教会員。

9

10